

平成 29 年（2017年）度 学校自己評価（最終評価）

平成 29 年度の重点目標

- ①基礎基本の定着と応用力を身につけるための個に応じた指導・相談体制を築く
- ②自らの判断と行動により充実した学校生活を創り出し、自らの力で自己実現ができるよう支援する
- ③地域や各教育機関との連携を密接にし、積極的な広報活動を行う
- ④いじめ・暴力・体罰のない安心安全な学校づくり

【学校教育目標】

- I 一人ひとりに応じた学力をつける
  - (1) 基礎基本の徹底
  - (2) 指導方法の工夫・開発
  - (3) 話す力・読む力・書く力の重視
  - (4) 受験学力の向上
- II 個性を大切に、「創造性」を培う
  - (1) 進路を意識した学校生活の充実
  - (2) 基本的な生活習慣の確立と健康な心身の育成
  - (3) 一人ひとりの生徒との対話の重視
  - (4) 人権教育（いじめ・体罰等の防止）の一層の充実
- III 地域に根差した開かれた学校づくりを進める
  - (1) 授業の公開
  - (2) 学校評議員制度の活用
  - (3) 地域学を中心とした外部講師の活用

評価日(回答日):平成30年1月24日

評価指標:A十分達成できていると考える Bおおむね達成できていると考える Cやや不十分であるとする D不十分である

領域	対象	評価項目	今年度 評価の観点
教育課程	教育課程	①学習集団の編成	1年生について学力に応じた学習集団の編成ができたか。
		②特色ある教育課程の編成	2年生について進路を見据えた適切なコースができたか。 3年生について生徒の進路希望に応じた講座編成ができたか。
	学年		「総合的な学習の時間」の内容の充実が図れたか。
	学習指導	①授業の工夫・改善	生徒にとって分かりやすい授業が実践できたか。
			教員が授業を互いに見合う機会や情報・意見交換の機会を持てたか。
			各教科において、生徒が学力を高めるにあたっての有効な指導方法の模索ができたか。
		②個に応じた指導	学校設定科目「プログレス」を中心に、生徒の学び直し・学び高めの有効な指導ができたか。
			生徒一人ひとりの理解度を把握した上で個別指導がなされ、学習意欲を喚起できたか。
			③体験的学習の充実
	④読書活動の啓発	年間の図書館の利用者数が増加するなど、生徒全体に読書活動を促す取り組みができたか。	
	生徒指導	①職員間の意識の統一	職員会議等の会合において、生徒指導の方針を全職員で共有し確認できたか。
		②生徒が安心して学べる環境づくり	学習環境を整備すると共に、暴力や威圧、いじめを予防することができたか。
		③家庭との連携	家庭と連絡、連携をとりながら、生徒に関する諸課題に対処、指導することができたか。
		④生徒との対話	生徒と対話、コミュニケーションをとりながら、必要な指導をすることができたか。
進路指導	①キャリア教育の推進	「蓼高タイム」におけるインターンシップの実施等を中心に、将来を見据えての進路選択につながる指導ができたか。	
	②進路目標の確立と進路実現	生徒一人ひとりが進路目標を持ち、自己の課題に意欲的に取り組むよう指導できたか。	
学校運営	地域連携	①授業公開	地域、中学生、保護者等に対して蓼科高校の特色が理解できるような授業を公開することができたか。
		②広報活動	フォトニュース、学校案内パンフレットやホームページを通じて、地域や中学生などに本校の魅力を発信することができたか。
		③外部との連携	地域学など外部講師の活用を通じて、校外機関との連携が図れたか。
研修	①職員研修の充実	課題に応じた職員研修の機会を設定できたか。	

最終評価	A	B	C	D	個人から出た反省・意見等
B	21%	79%	0%	0%	・おおむねできたが、講座編成については改良したい。 ・TTの必要性についても検討してほしい。
B	11%	83%	0%	6%	・系統立てた選択の道筋を全体で考えてほしい(学年任せではなく)
B	11%	78%	6%	6%	・受験を想定すると現在の状況では対応できない。
B	11%	79%	11%	0%	・「蓼校タイム」各学年で扱う項目・メニューに関して、もう少し内容や実施時期を明確化して、学校全体に周知しておいた方がやりやすいように思った。
B	26%	74%	0%	0%	・各教科や講座で工夫して取り組んできていると思う。 ・授業アンケートも活用してほしい。
C+	17%	33%	44%	6%	・短時間ではあるができた。 ・昨年よりは多くの先生が見学していたように思う。
B	22%	56%	22%	0%	・対話型の授業を取り入れていきたいと思う。 ・新しい対話型の授業の模索もされているように思う。
B	33%	61%	6%	0%	・中学時のプリントを中心に復習している。
B	22%	72%	6%	0%	・個別指導はなかなか難しい。 ・一人一人に教えるには教員数が足りない。
B	17%	78%	6%	0%	・全教科一律は難しいが、教科の特性をふまえてそれぞれに工夫・改良を進めていると考えるし、さらに進めていけたらいいと思う。
B	21%	68%	11%	0%	・読書週間・読書案内の取り組みは有意義だと思う。
B	26%	47%	21%	5%	・身なりについて教員間の意識の違いが大きい。生徒手帳にも書かれているので、やるならやる・やらないならやらないと統一してほしい。指導がやりにくくてしょうがない。 ・頭髪など始業式後10日以上経過しても黒染めされない者がいるなど、やるのか・やらないのか方針をはっきりさせて欲しい。授業終了10分前に授業を終えられた生徒により、廊下等からの授業妨害が絶えない。また自習中の教室外立ち歩き、スマホ使用、授業中の小便外出、おしゃべりの放置などが生徒からも指摘されている。教員の認識の統一、管理徹底が不十分だと思います。
B	0%	79%	21%	0%	・今年度も大きな事態には至らなかったものの、ネット・スマホがらみの事案がいくつかあった。引き続き予防的な取り組みを進めていきたい。
B	26%	74%	0%	0%	・担任の先生方を中心に学校と家庭間の連絡・連携はしっかり取れていると思う。今後も粘り強く対処していきたい。
B	32%	63%	5%	0%	・職員による。 ・「総合的な学習」等でSSTやSGEに取り組むことで、集団全体の意識を高めてトラブル予防につなげていくことも必要ではないか。
B	22%	78%	0%	0%	・まずまず機能していたと思う。
B	11%	78%	11%	0%	・コミュニケーションに難さがある生徒が一定割合いるので、指導のノウハウをうまく共有して早め早めに対策を進めたい。
B+	42%	58%	0%	0%	・教務の先生を中心に工夫し対応できた。 ・個別の授業見学にも対応できて、よかった。
B	37%	63%	0%	0%	・教務の先生を中心に行っていただきありがとうございました。
A-	50%	44%	6%	0%	・地域からのバックアップや担当の先生方のご尽力で、今年度もうまくまとめられたと思います。ありがとうございました。
B+	39%	50%	11%	0%	・うまくやりくりして実施していただいたと思う。